

まちづくりへの提言

平成29年11月6日(月)

丸瀬布地域まちづくり会議

丸瀬布地域まちづくり会議

役職	氏名	所属等
会長	柳田 友之	丸瀬布地区自治会連合会
副会長	上野 善博	農業委員
委員	鈴木 幹雄	遠軽地区連合会
委員	佐竹 聡子	えんがる商工会女性部
委員	関 弘	スポーツ推進委員
委員	谷口 康寿	遠軽町社会福祉協議会
委員	能正 あすか	えんがる商工会女性部
委員	塘 秀克	丸瀬布社会福祉協会
委員	管野 浩太郎	えんがる商工会青年部
委員	須藤 奈都美	ホテルマウレ山荘

平成29年度における活動経過

第1回	平成29年8月9日(水)	丸瀬布コミュニティセンター
第2回	平成29年9月7日(木)	丸瀬布コミュニティセンター



課題等の整理



- 人口減少、高齢化
- ごみ収集
- 買い物・公共交通
- 地域医療
- 地域活性化

... etc.

提言その1

「子育てがしやすく、若者が定住するまちに」

●内容

- ・保育サービスを充実させる
- ・公営住宅を整備する
- ・子どもの医療費を無償化する



提言その1

「子育てがしやすく、若者が定住するまちに」

●提案理由

- ・丸瀬布地域は、遠軽地域に比べ人口減少率が高く、高齢化率は4地域で1番高く50%を超える
- ・一方で、木材加工工場、高齢者福祉施設などを抱え、若い就業者は比較的多い
- ・遠軽地域から通う就業者が多いので、地域の事業所就業者が丸瀬布地域に住むよう、子育て環境、住環境などを整備し、若者の定住を促す

提言その2

「観光振興による経済活性化」

●内容

- ・道の駅にキャンピングカー客を誘致
- ・大平高原の整備と活用
- ・大規模林道開通を促す



提言その2

「道の駅のキャンピングカー対策」

●提案理由

- ・高規格道路延伸により道の駅利用者は前年比約6割減少、新たな誘客戦略が必要

道の駅まるせっぷ利用者数(木芸館+トイレ333利用者)

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
平成28年度	55,577	113,166	72,475	123,081	163,650	123,017	650,966
平成29年度	19,761	48,200	35,733	49,032	71,706	43,901	268,333
前年比	36%	43%	49%	40%	44%	36%	41%

提言その2

「道の駅のキャンピングカー対策」

● 提案理由

◆ 図表1 総保有台数

項目	年	2005年	2007年	2009年	2011年	2013年	2015年	2016年
総保有台数		50,000	59,000	68,000	75,600	85,200	95,100	100,400



キャンピング
カーの保有
台数が11
年で倍増！

提言その2

「道の駅のキャンピングカー対策」

●提案理由

- ・キャンピングカーは、比較的滞在時間が長く、地域経済への効果も大きい？
- ・ユーザー同士のネットワークがあるため口コミで評判が伝わりやすい
- ・第2の住民「風の人」として、よそ者目線を生かして、まちづくりに参加してもらうことも考えられる

提言その2

「大平高原、大規模林道の整備・活用」

●提案理由

- ・丸瀬布上武利地域は、いこいの森やマウレ山荘が立地し、本町の主要観光拠点になっている
- ・大平高原は認知度はあまり高くないが、昼の開放感あふれるパノラマ風景や天の川が縦貫する星空の魅力度は高い
- ・大規模林道は土砂崩落により現在通行止めだが、開通すれば温根湯、武利岳と上武利地域がつながる
- ・高齢化率の高い地域にとって観光振興による就業者数増が望まれる